

2 年学年だより

2020. 7. 31
大阪市立堀江中学校
学年通信 第7号

「日常」とは？

連日大阪でも新型コロナウイルスの感染者数が、危機感をもって報道されています。3 か月ほどの休校期間中のこと覚えていますか。しんどかったはずなのに、コロナの蔓延が早く終わればいいと、努力したはずなのに、今や第2波と思われるような広がり方をしています。

世の中も経済を止めるわけにはいかない、できるだけ「日常」を「日常」のままで、という流れになっています。私たちはどんな「日常」を送れば、感染拡大を防ぎつつ学校生活ができるのでしょうか。

学校での生活が続けられるよう私たちが注意してできること(マスクの着用や昼食時のあり方など)を協力してやっていきましょう。

気持ちを引き締めて

1 学期唯一の期末テストも終わり、ほっとしているのが伝わってきます。それは、休み時間の様子からももちろんわかるのですが、「授業中に寝ている人が多い」という残念な伝わり方をしています。定期テストは結果が出てそれで終わりではなく、基礎固めのために間違ったところのやり直しをし、復習をすることが大切です。「やりっぱなし」ではなく、自分をしっかり見つめなおして1 学期の反省としてください。自分のダメな部分を素直に受け止め、どうせダメだからと簡単にあきらめずにやっていきましょう。そういう気持ちがあれば、いつまでもふわふわ遊んでいられません。気持ちを引き締めて自分のすべきことを見つめなおしてください。

8月の主な予定

1 日 (土) 土曜授業 45 分×4 時間 (下記参照)

～保護者懇談会 6 日 (木) まで

8 日 (木) 終業式

25 日 (火) 2 学期始業式 【45 分×4、始業式(含む学活)・火 2・3・4】

27 日 (木) 課題テスト 【理・英・国・社・数】

31 日 (月) 中央専門委員会

8 月 1 日 (土) 土曜授業

	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6
1	理	技	国	国	数	社
2	国	音	美	社	英	理
3	数	国	英	社	技	理
4	国	社	数	英	保体	保体

6 月実施: 職業調べ「まわりの人にきいてみよう」より

中学生へのメッセージ！～保護者の皆様より

- まず、飛びこんで行く。最初から分かっている人はいない。10 年後に何ができるかを見ず、先輩から知識を盗んで乗り越えるつもりで耐えること。
- 小さい時から、本物を沢山見て、経験をし、感じた事を自分で表現でき、やりたいことを実行する力を持っていれば、どんな仕事に就いても、つらい事があっても乗り越えてやっていける。今のこの時期はとても大事な時間。生きるってとても楽しい。がんばれ!!
- 何事も知るといことが大事。知らないということは時には怖いことにつながる。よく学びよく遊ぶことが大事。
- 仕事をするのは大変だけど、大変の中にでも、やりがい、楽しさを見つけ自分のものにしてほしいです。
- 人間の幅を広げよう! たくさんの人と関わり、対人関係を幅広く築いて人間としての幅を広げてほしい。
- 何事もすぐ逃げ出さないこと。続ける努力を今のうちに身につけること。
- 我慢したことやがんばったことで目的を達したときの達成感はやはり最高です。その最高を求めて、何事も忍耐が大切です。
- あいさつはかかさずに!
- 自分が好きなことはやればいいと思う。今の時代は YouTube や SNS などいろいろなことを発信できるので自分の意見を恐れず発信して、チャンスをつかんでほしい。
- 基礎を固め基本を創り、応用に活かす。ゆえに基礎になる心技体をしっかりと時間をかけて作ることが大切である。—鍛錬—
- 努力も大事だけど結果がいちばん。能力を身につけたほうがいい。あと、効率よく生きる。
- 1 つ! 友達や仲間をつくること。将来多くの人と関わることに役立つ。
2 つ! 自分の頭で考えること。あまりインターネット情報に頼らない。
3 つ! 中学生生活を楽しむこと
- ・適当なことはしない、ちゃんと調べてからするようにする。
・わかることとわからないことを自分で明確にして、わからないことは誰かに聞くこと!
・報告・連絡・相談をすること!
- 自分のアイデンティティを大切に何をして人生を謳歌するか、どうやって楽しむか日々感じ、考えることが大切!!
- いろんな経験をしてほしいです。その時にしかできない経験をしてチャレンジをしてください。経験は財産です。失敗しても良いからチャレンジすることが大切です。逆にチャレンジをしないことが失敗です。そして経験が成功。

保護者の皆様へ

皆様のお子さまへの話を載せさせていただきました。ありがとうございます。紙面の関係で数名の方ですが紹介させていただきました。「ことばの意味はわかるけど」という中学生に、実感をもって届くといいなと思っています。さまざまなことばからきくとお子さまたちもいろんなことを考えてくれるはず。

掲載させていただいた皆様、本当にありがとうございました。また、掲載できなかった皆様、申し訳ありませんでした。